

クラウド実践テーマ：顧客満足度の向上、従業員満足度の向上、業務効率の改善

業種：製造業（産業機械制御装置の製造）

企業名：株式会社小松電業所（石川県小松市）	【従業員数：355名】
クラウド実践のスタートでスマートファクトリー・スマートワークを実現	

1 経営課題

- ・売上増に伴う生産需要に応える人材が不足してきたため、生産性向上を目指して工程を見える化し効率的な改善活動を進める。
- ・従業員数の増加による従業員間でスキルの均一化への対応や、事業所の分散によるコミュニケーションが疎遠とならないように、業務を効率的に進める。

2 クラウド実践による課題解決

- ・IoTを用いて工程の稼働状況が見える化し、ボトルネックの改善につなげる。
- ・グループウェアを導入し、いつでも何処でも誰とでも仕事ができる環境を整備する。
- ・課題解決のためにクラウド実践を始めたが、導入当初はクラウドの機能確認、運用ルール・ワークフローの策定等に時間を要した。
- ・運用時には、社内全体に対してクラウド利用を前提とした業務方法・運用ルールへの移行を周知するとともに、クラウド利用を前提とした体制作りやデータ移行に時間を要した。

3 導入したクラウドサービス（導入期間：約1年）

- ・日本マイクロソフト株式会社 Office365(BusinessPremium,BusinessEssential)(情報共有)
- ・シャチハタ株式会社 パソコン決裁 Cloud（ペーパーレス化）
- ・株式会社オービック OBC クラウドサービス(コンプライアンス対応、ペーパーレス化)
- ・i smart technologies 株式会社 iXacs（生産性向上）

4 課題解決に向けた組織運営

- ・働き方改革への取組みとその実行のためのインフラ整備（WiFi整備、端末配備等）。
- ・担当者を各課に選任、約1回/月頻度での情報共有やアプリ等の利用の勉強会を開催。
- ・ベンダーに1回/月で訪問いただき成果と方向性の確認、県事業による社員研修を実施。
- ・小規模から初めて、確認と問題の洗い出しを進め、徐々に部門や工程を拡大した。

5 実践事例の成果

- ・設備投資稟議の回覧、勤怠の申請・決裁時間の短縮（1週間以上→最短申請当日に処理）
- ・ペーパーレスの実現
- ・塗装ライン可動率
 - ＜導入前＞掛け面積 6.9 m²,可動率 75.8% → ＜導入後＞掛け面積 7.2 m²,可動率 86.2%
- ・チャット機能により文字データとして残ることから、これまでの電話でのかけ直し確認の必要がなく、相手とのやり取りがスムーズになった。